

都市計画道路 大阪河内長野線事業(南工区)

都市計画道路は、都市計画法に定められた都市施設の一つであり、交通機能をはじめ、防災空間やライフラインの収容空間としての機能を有し、まちの骨格となる道路です。

大阪河内長野線は、本市の東部地域を南北に貫き、大阪市及び大阪狭山市に接続する重要な幹線道路の一つです。現在、国道309号や府道大阪狭山線では慢性的な渋滞が発生していることから、本路線の整備により、交通環境の改善を図ります。

また、火災時の延焼遮断帯の軸となることや地域緊急交通路等の代替性や多重性を有し、防災上も非常に重要な役割を担います。

● 事業による効果

道路ネットワーク機能の強化
防災機能の向上

- ・ 国道309号や府道大阪狭山線の慢性的な渋滞の緩和
- ・ 周辺の生活道路における通過交通の抑制
(安全な歩行空間を確保・周辺地域の交通環境の改善)
- ・ 緊急車両の通行、災害時の避難路、延焼遮断機能の強化。

まちの魅力と活力の向上
市街地の防災・減災機能の強化

● 事業概要

事業区間 東区北野田
事業延長 約0.6km
道路幅員 35m

● 平成28年度の予定

- ～平成27年度
- ・ 道路概略検討の実施
 - ・ 事業手法の検討

平成28年度の予定
早期事業化に向け、道路予備設計
や用地調査等を実施

